

● 地域提案型

平成24年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	モンゴル
2. 事業名	ウランバートル市植林技術支援事業
3. 事業の背景と必要性	ウランバートル市は国立庭園公園の造成などを計画している。しかしながら、苗木生産技術が確立されていないために十分な苗木を確保できないほか、効率よく植林できるさし木技術を同市・関係機関技術者が有しておらず、苗木生産や植樹技術の定着が求められている。なお、モンゴル国と北海道の植物種の分布が酷似していることから、北海道の寒冷地苗木生産・植樹技術が適している。
4. プロジェクト目標	ウランバートル市が自力で一定レベルの技術者を増やし、植林技術の確立された樹種を増やすことができるようになる。
5. 対象地域	ウランバートル市国立庭園公園
6. 受益者層（人数規模）	ウランバートル市役所、企業・民間業者内等の技術者（240人）及びウランバートル市民
7. 活動及び期待されるアウトプット	<アウトプット> 1. 一定程度のレベルの技術者が一定程度育成され、後身の育成ができるようになる 2. モンゴルに適した苗木の生産技術及び植樹技術が向上する 3. さし木による植樹技術が備わる <活動> 1-1. 緑化技術者等育成研修会の開催（2013年から2015年） 1-2. 北海道の林業試験場や苗木生産業者での研修員の受入（2014年から2015年） 2. 実行委員会で作成した既存の苗木・試験林造成・調査マニュアルを活用し、育成環境別の苗木造成、立地環境別の植樹試験林の造成及び調査・測定実習を行う（2013年から2015年、試験林は2015年のみ） 3. 実行委員会で作成した既存の苗木・試験林造成・調査マニュアルを活用し、立地環境別のさし木試験林の造成及び調査・生育実習を行う（2013年から2015年）
8. 実施期間	2013年6月から2016年3月
9. 事業費概算額	29,339千円
10. 事業の実施体制	現地の実施体制：ウランバートル市、国立庭園公園 現地の技術者所属先：ウランバートル市役所、企業・民間業者など 国内の実施体制：着いウランバートル技術支援実行委員会 ● 公益社団法人 北海道森と緑の会：事務局 ● 日本モンゴル文化経済交流協会：ウランバートル市との連絡調整 ● 一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会：現地研修、国内研修、試験林造成等 ● 北海道緑生会：同上 ● 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場：同上 ● 北海道（水産林務部）：計画管理、連絡調整
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	着いウランバートル技術支援実行委員会（北海道）
2. 対象国との関係、協力実績	● モンゴル国から、気候条件が似ている北海道の植林専門家を派遣するよう要請を受け、北海道立総合研究機構 森林研究本部の技術者をウランバートル市等へ派遣（平成23年10月）。 ● 日本モンゴル文化経済交流協会から、北海道に対し、ウランバートル市における技術協力実施の要請（平成24年5月）。